

小高の10年7年 を振り返る

一般社団法人才ムスピ
森山 貴士



自己紹介



森山貴士

一般社団法人才ムスピ 代表理事

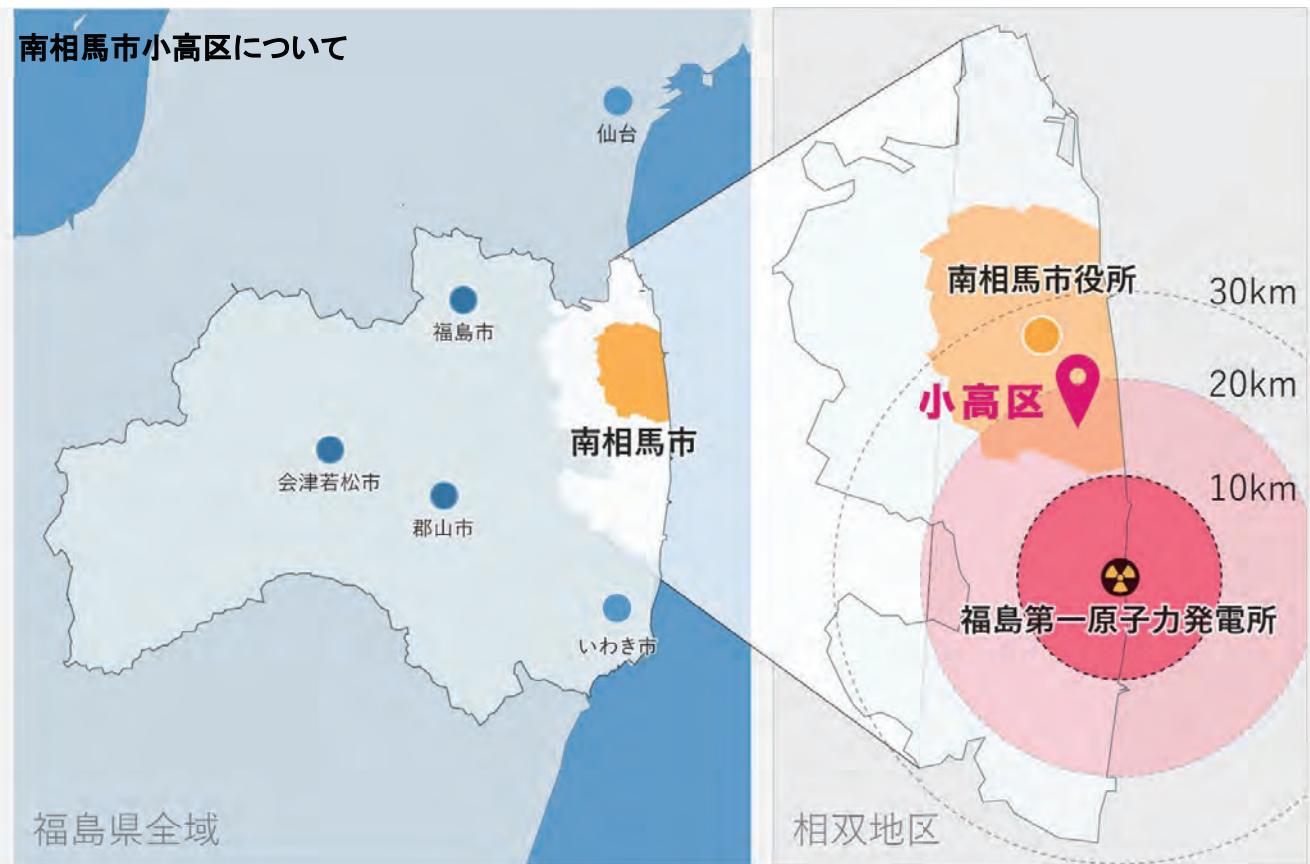
年齢: 35

移住: 2014~(移住当時は27歳)

出身: 大阪府大阪市

前職: ソフトウェア会社のITエンジニア

南相馬市小高区について



MISSION

**地域の経営資源を集め
できることを増やして
地域課題を解決する**



地域の経営資源を集めていく。

01 自分たちのできることを増やす
経営能力や技術力を高める

02 仲間を集める
スタッフとしての仲間、
協働相手としての仲間

03 仲間と一緒にできることを増やす
地域資源を総動員して描ける姿をみなが
ら、今できることをする



PROBLEM 私たちが捉えた旧避難地域の「課題」



地域を良くするために
必要な能力とできることの
ギャップが大きい

不確実性の高さ

先行きが見えない、どうなるかわからない

小さい市場規模

人口3,000人の街のマーケットはとても小さい。

乏しい経営資源

一握りのリーダーと、偏りのある経営資源。

外貨を稼ぎに売ってでも、外の市場で戦っていく競争優位性がない

未来の
可能性を示す



未来の 可能性を示す



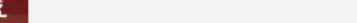
少人数だからできる教育やビジネスがある

日本でのトップクラスの企業や人と接する機会をうなづいて、自分たちの成長に役立つことを思って、この企画を実現させました。自分たちの成長が、日本の社会に貢献する一歩となることを願っています。

小高では無理？視点を変えればチャンスが見えてくる。¹⁵



南相馬・小高



編集部で
これから的小高のまちの方向性と具体的な方法を考えてみた。

結果で選んでいた内容をまとめてみました。これかほら、ではなぜかさまであるが参考になればいいと思います。

実現可能な方針と実現の場 としての小高のまち

企画会議室

企画会議室は、小高のまちの「まちづくり」や「まちの活性化」を目的とした会議室です。企画会議室では、まちづくりのアイデアや意見を自由に交換する場所として、また、まちの活性化のための企画やイベントの立案・運営を行うための会議室として、活用されています。

企画会議室は、小高のまちの「まちづくり」や「まちの活性化」を目的とした会議室です。企画会議室では、まちづくりのアイデアや意見を自由に交換する場所として、また、まちの活性化のための企画やイベントの立案・運営を行うための会議室として、活用されています。

これまでになかった おしゃれな飲食店

カワセミアートプロジェクト

カワセミアートプロジェクトは、小高のまちの「まちづくり」や「まちの活性化」を目的とした企画会議室です。企画会議室では、まちづくりのアイデアや意見を自由に交換する場所として、また、まちの活性化のための企画やイベントの立案・運営を行うための会議室として、活用されています。

カワセミアートプロジェクトは、小高のまちの「まちづくり」や「まちの活性化」を目的とした企画会議室です。企画会議室では、まちづくりのアイデアや意見を自由に交換する場所として、また、まちの活性化のための企画やイベントの立案・運営を行うための会議室として、活用されています。

地元で続ける 「喫茶室」文化

地元にこどもいるおじいちゃんが
「喫茶室」文化を継続させたい。
おじいちゃんがこどもたちのことを
思ふ気持ちを理解します。

つくづくおじいちゃんは、「次
の世代にこどもたちのことを
思ふ気持ちを理解する」という
想いを込めて、こどものことを
思ふ気持ちを理解するための
喫茶室を始めたのです。

そうしたらおじいちゃんがおじい
ちゃんの喫茶室で何時頃からいつ
まで、うしろ姿でこどもたちのことを
思ふ気持ちを理解するのを見入る
事なくしてしまいました。

おじいちゃんがこどもたちのことを
思ふ気持ちを理解するのを見入る
事なくしてしまいました。

街角や商店、併せていても 見かけない人や移住者などに 親しみや温かみを感じさせる 施設や空間としてのまちのよさ

街角や商店、併せていても
見かけない人や移住者などに
親しみや温かみを感じさせる
施設や空間としてのまちのよさ

生きがい・交流を 社会全体で実現する

物販専門店や飲食店などを含む
複数の商業施設を「まちの
商業施設」として、一日の夏
祭りや冬祭りなどの季節行事
たり、飲食店や物販店の開催
や利用者による活動を通じて、生
きがいあつたまちをより多く
楽しむことであります。

CONCEPT3 地域の課題を多面で解決する街

10年後に、西いわきがち、地域の課題を解決する新しいビジネス
が生まれています。高齢者の課題を若者が解決する、若い人の取り組み
に住み込みで難題を出し、改善していく、「みんなが一緒に問題を解決
し、よくしていく」ことに取り組んでいます。

CONCEPT2 高齢社会でも豊かに暮らせる街

行政主導で目指すコバヤシシティ
「助け合い」の文化をITでもっと効率的に
POINT!!

小高では、小高商業拠点と小高工業拠点を中心として、モノ/ノクリや情報に強い学校が出来ました。また、地域に根ざす「みやいのちを育む」街作りをめざす、地域の資源を活用した地域活性化の取り組みが進められています。この辺りをうまく活用することで、街並みを整え、安心感を維持できる土壌をつくることが可能になります。

小高では、小高商業拠点と小高工業拠点を中心として、モノ/ノクリや情報に強い学校が出来ました。また、地域に根ざす「みやいのちを育む」街作りをめざす、地域の資源を活用した地域活性化の取り組みが進められています。この辺りをうまく活用することで、街並みを整え、安心感を維持できる土壌をつくることが可能になります。

CONCEPT1 地域の課題を多面で解決する街

行政主導で目指すコバヤシシティ
「助け合い」の文化をITでもっと効率的に
POINT!!

小高では、小高商業拠点と小高工業拠点を中心として、モノ/ノクリや情報に強い学校が出来ました。また、地域に根ざす「みやいのちを育む」街作りをめざす、地域の資源を活用した地域活性化の取り組みが進められています。この辺りをうまく活用することで、街並みを整え、安心感を維持できる土壌をつくることが可能になります。



キッチンカー

まずニーズのありそうなこと、やってみたいことを試してみる。
「地域にカフェが欲しい」というニーズを最小要件で試作

参加してもらう



ソーラーライト

コーヒーと一緒にソーラーライトを買ってもらい、街に明かりを増やしていくキャンペーン。
150本のソーラーライトを設置した。



試作する



おむすびマルシェ

スーパーがなくても、選ぶ楽しさが本当にあれば面白いのではということで考えた青空市。



少しずつ 育てる



カフェの店舗化

キッチンカーを店舗に。有償でスタッフを雇用しても継続できる
売上をつくる

参加 してもらう



いろんなイベント

老若男女、いろんな人と主催・参加してもらうイベント



**面で機能させ、
賑わいをつくる**



まちなか菜園

t点で機能はじめた小高を、
面でつなぐ。
人を外に出し、賑わいをつくる

**ちゃんと
稼ぐしくみ
を目指す**



小高街バル

おだかのイルミネーションという
資産を使い、地域でお金を稼げるよう
に



小進

相馬野馬追について アクセス スケジュール お知らせ 観覧チケットの購入 >

相馬野馬追

一千有余年の歴史を経て、
今なおいきづく
伝統の祭

技術を磨き
地域のものを
よりよくする



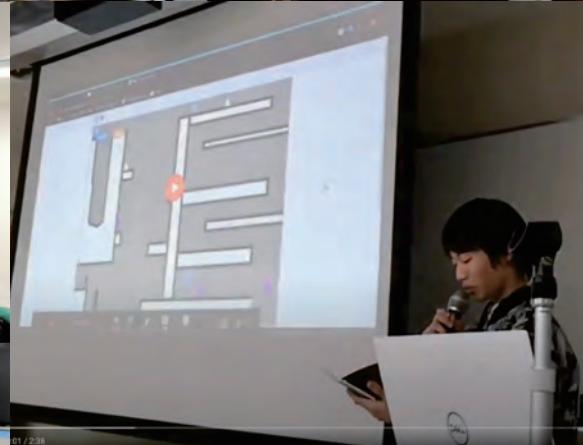
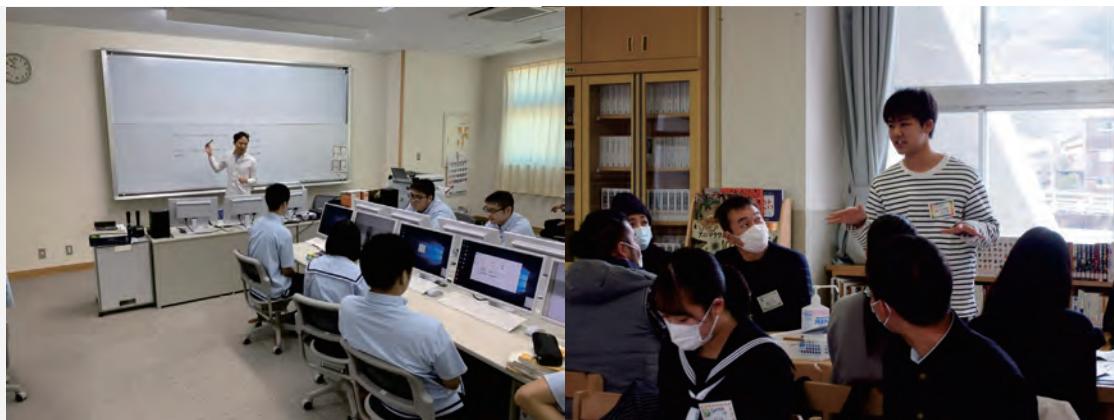
IT事業の安定と拡大

地域の中でできるIT関連の仕事を増やす。

次世代の種をまく



プログラミング、課題解決の教育



私たちにとっての7年

"何もできなかつた"自分から
何かを少しづつ進めて行ける自分たちへの変化

ヨソモノ若者ボランティア集団から
強みを持った組織へ

手探りのプロトタイプから、
戦略的ビジネス展開へ

**地域コミュニティデザイン力×
IT/WEB/マーケティング力で地域を変える**



**地域コミュニティ
デザイン**

コミュニティ運営
カフェ経営



**外貨を獲得できる
地域づくり**

地域の商品開発
観光DX



**ITとマーケティングで
仕事をつくる**

首都圏ふくめた受託事業
地域モデル事業

この10年に対して思うこと(このあとのPDへの投げかけ)

マクロ的な活性化とミクロ視点の個人の幸福のバランスの綱引き

-> まちが活性化しても社会参加や身体性がなければ
むしろ置いてけぼりでより不幸では?

-> 「アナタが大事です」というメッセージは、受けられなかつた人からすれば
「アナタのことはどうでも良いです」というメッセージになる可能性

-> 一方で少し強引にでも活性化していかなければ
街そのものを存続できないという視点もわかる

-> 基本的に現代社会においては、ミクロ視点に立つ側の能力や権限が
小さいように思う

-> 体制批判や補助金誘導にばかりコストを割いていて、

実業をやっている人が少ない、いても規模が小さい。技術やマーケティングを軽視している。

-> ある意味 正論・実直すぎて清濁併せ呑む状態を許容できないので、いつまでも勝ち馬に乗れない(自己批判)

この10年に対して思うこと(このあとのPDへの投げかけ)

個人的には、「フクシマ」の経験があったからこそ、
ボトムアップ型の地域づくりを模索してもよいと考えている。

幸福な生活に大事なのは孤独でないこと

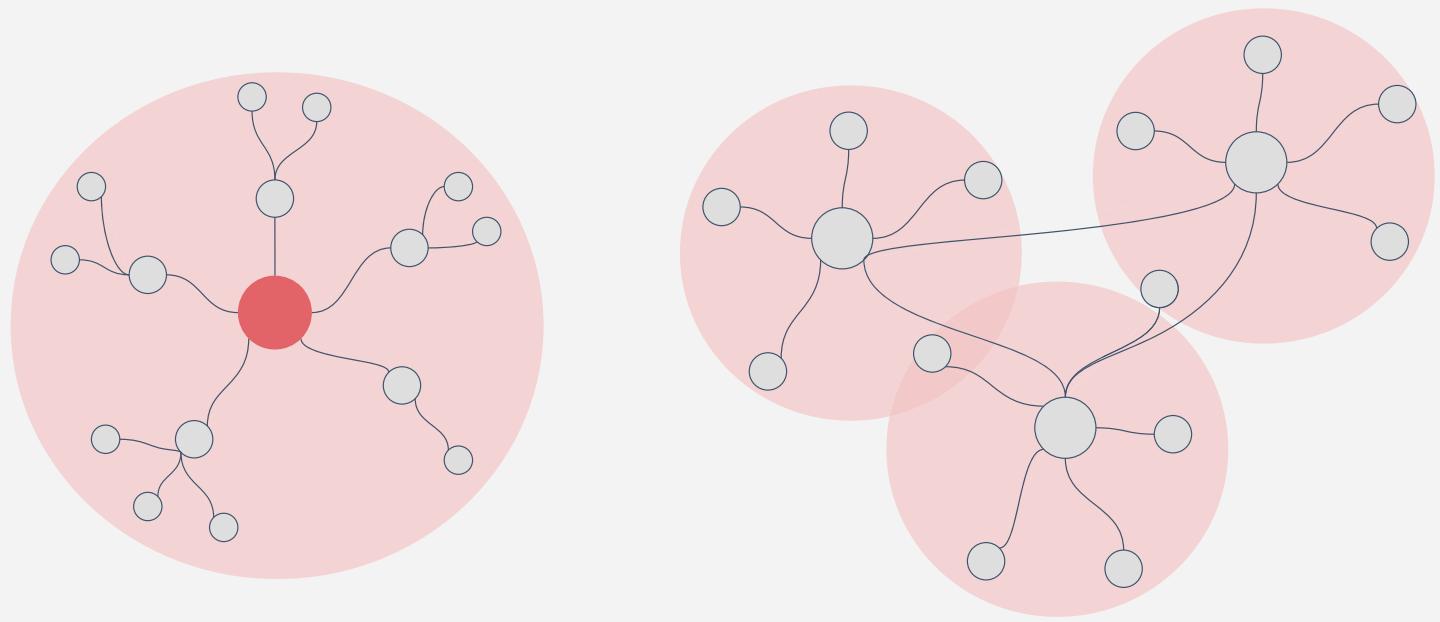
=社会への参加・役割があること、地域の身体性が重要だと考えている

<=>3.11の被害をもたらしたトップダウン型社会はそれを放棄した結果とも言える

だからこそ、この地域で新しいモデルを目指すことには価値がある。

浪江以南はトップダウン型の介入がなければかなり難しいが、
小高は3000人の現住人口があり、出来る可能性がある。

参考: 中央集権的なネットワークから、強い紐帯を持つ複数の分散型ネットワークへ



参考: 小高の地域の魅力を歴史からたどる

